

ロボット溶接のチップ長寿命化

最新レーザ技術研究センター

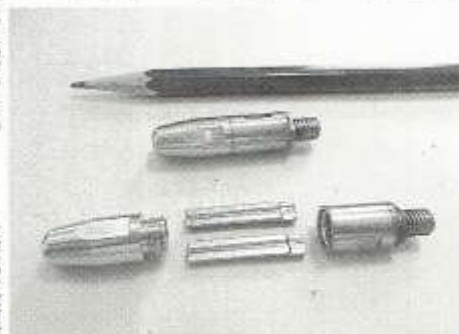
長持ち15倍 年1万本販売めざす



西名宗春社長

同社は、研究者として溶接・レーザの研究に長年携わり、名古屋大学を定年退職した西名社長が200

レーザ加工の研究と開発を手掛ける最新レーザ技術研究センター(本社安城市安城町、西名宗春社長、電話0566・91・2228)は、ロボット溶接の給電チップユニットを本格発売する。チップ先端部で通電する構造で、従来チップと比べ10〜15倍長持ちする。自動車関連を中心に、年間1万本の販売を目指す。(安城・片桐秀樹)



長寿命化を実現した給電チップユニット。チップ部分を半割れ型にしている

8年に設立した。今回の給電チップユニットは、製造現場で給電チップの長寿命化を求める声をもとに開発に取り組んだ。従来チップは通電部が一定せず、チップ内で発熱するため、摩耗のスピードが速かった。

命化を実現した。大卒エンジニアリング(本社浜松市)と共同開発した。4年前に開発し、自動車部品メーカーなどで量産対応の実験を実施。改良を進めてきた。これまでの実績では、溶接電流200Aで溶接時間が年間4千時間の

同社が開発した長寿命チップは、チップ部分を半割れ型にし、ばねで通電部が常に先端になるように調整している

場合、年間コストの比較で、従来チップが3万2500円に対し、長寿命チップユニットは1万7千円まで削減できたという。溶接電流200A以下の

チップの交換時間のロスも軽減し、稼働率向上につながる。今後は、さらに大きな溶接電流に対応した長寿命チップユニットを開発したい」と話している。

溶接を手掛ける自動車メーカーがメインターゲット。近く溶接機メーカー、ダイヘン(本社大阪市)の溶接機に搭載される予定だ。西名社長は「長寿命化で



●三河支社
岡崎市明大寺町
寺東5-3
鈴熊ビル
電話 0564(52)2260
FAX 0564(54)2336

●刈谷支局
刈谷市相生町2-11
佐藤会計ビル
電話 0566(21)6106

●三遠支局
豊橋市萱町21
佐藤ビル3階
電話 0532(54)2668
FAX 0532(35)7100

ペン画家・柄澤照文氏の屏風展

岡崎信金名古屋支店

【岡崎】岡崎信用金庫は25日、名古屋市中区の名古屋支店7階ホールで、ペン画家の柄澤照文氏による屏風(ひょうぶ)展を開いた。



同支店の移転新築1周年記念として企画。「岡崎城下町」や「足助山車まつり」